



第187回 糖尿病教育学習研究会（トップセミナー）
第226回 IIDES糖尿病研究会
第161回 CDE兵庫県連合会研究会
—合同研究会のご案内—



日 時 : 2025年9月27日(土) 14:00~17:15
場 所 : 神戸国際会館8階 802・803号室
神戸市中央区御幸通 8-1-6 TEL:078-230-3196

プログラム :

14:00~14:15 住友ファーマ株式会社 一情報提供—

14:15~16:15 (座長: 富永 洋一 社会医療法人 愛仁会 総合健康センター 所長、
NPO 法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事)

(14:15~15:15)

基礎講座15. 『肥満症の病態と最新治療』

兵庫県立淡路医療センター 糖尿病・内分泌内科 芳野 啓 先生

(15:15~16:15)

講演1. 『糖尿病関連腎臓病に対するLDL アフェレシス』

神戸市立西神戸医療センター 腎臓内科 部長代行 垣田 浩子 先生

16:15~17:15 (座長: 芳野 原 医療法人社団 慈恵会 新須磨病院 常任学術顧問 糖尿病センター長、
東邦大学名誉教授、NPO 法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事長)

講演2. 『高齢者糖尿病治療の現状と課題』

～経口血糖降下薬治療のポイントと今後の課題～

神戸赤十字病院 糖尿病代謝内科 部長 川島 邦博 先生

注) ① 会場とオンライン同時配信によりハイブリッド講演会になります。

② 会場参加者は必ずマスク着用をお願いします。また、発熱がある方は入場をお断りしますので、体温を測定してからお越しください。

(1) 参 加 費 : 2,000 円

(2) 申 込 方 法 : 事務局へご氏名、ご所属、職種、ご連絡先、参加方法(オンライン参加 or 会場参加)、
必要な単位申請先を明記の上、E-mail (パソコンからの発信可能アドレスをお知らせください)、
またはFAXにてお願いいたします。

注) CDEJ更新のための認定単位が必要な方はWeb講習は対象外です。また、日病薬薬学認定制度の
認定単位が必要な方は、本オンラインでは単位対応できません。会場参加でお願いいたします。

(3) 連絡事務局 : 特定非営利活動法人 国際糖尿病教育学習研究所 (NPO-IDES)

〒651-1112 神戸市北区鈴蘭台東町 7-10-16

TEL:078-591-7515 FAX:078-591-7512

E-mail: yoshino@npo-ides.or.jp

※ 日医生涯教育講座認定 基礎講座: CC23・1単位、講演1: CC73・1単位、講演2: CC76・1単位 申請中

※ 日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修会〈第2群〉1単位 (オンライン参加不可) 申請中

※ 日病薬薬学認定制度 V-2・2単位 (オンライン参加不可) 申請中

※ 糖尿病療養指導士兵庫県連合会 認定更新のための研修会 2単位

共催: 特定非営利活動法人 国際糖尿病教育学習研究所

糖尿病療養指導士兵庫県連合会

一般社団法人 兵庫県病院薬剤師会

住友ファーマ株式会社

1. オンライン参加をお申込みされた方へは、参加費振込先を申込メールアドレスにお送りいたします。
(オンライン参加費振込締切日は9月25日まで。振込手数料は各自でご負担願います。入金された参加費については、返金対応いたしませんのでご了承ください。)
2. 入金確認後、事前登録URLを申込メールアドレスにお送りいたします。
3. 当日オンライントラブル連絡先：住友ファーマ株式会社 窓口 伊藤 (TEL: 080-6104-9128)

※ご連絡頂く「個人情報」は本会運営の目的のみに使用させていただきます。

【認定単位の必要な方へ】（単位取得までの流れ）

- 受講確認のため、受講中に3回キーワードを発表します。必ずメモしてください。
- キーワードが全部合致しない場合は、受講したものと認めませんのでご注意ください。
1. 糖尿病療養指導士兵庫県連合会認定に関して
- 受講後、当日中に3回のキーワード、ご氏名、認定番号、送付先住所を事務局メールアドレスにお送りください。
- キーワードが合致した方のみ、参加証（単位申請用）を送付いたします。
2. 日医生涯教育講座認定に関して
- 受講後、当日中に3回のキーワード、ご氏名、所属医師会、医籍番号を事務局メールアドレスにお送りください。
- キーワードが合致した方のみ、単位申請いたします。

— 抄 錄 —

基礎講座 15. 『肥満症の病態と最新治療』

芳野 啓 先生 兵庫県立淡路医療センター 糖尿病・内分泌内科

肥満症は 2 型糖尿病を含む様々な健康障害と関連し、治療として食事療法、運動療法、行動療法に加え、薬物療法がある。近年では薬物療法として GLP-1 受容体作動薬（セマグルチド）や GP/GLP-1 二重作動薬（チルゼパチド）などの新規薬剤が注目されている。本講演では、肥満症診療ガイドライン 2022 の要点、薬物療法の臨床結果、薬物療法の適応や副作用、外科療法の適応基準について概説し、今後の地域医療における多職種連携体制の展望を示す。

講演1. 『糖尿病関連腎臓病に対するLDLアフェレシス』

垣田 浩子 先生 神戸市立西神戸医療センター 腎臓内科 部長代行

LDL アフェレシスは血液中の LDL コレステロールを選択的に除去する血液浄化療法です。これまで家族性高コレステロール血症、閉塞性動脈硬化症に対する動脈硬化の進行抑制、巣状糸球体硬化症に対する脂質毒性の軽減、蛋白尿減少効果が示され、行われてきました。糖尿病関連腎臓病で高度蛋白尿が出るようになると、腎機能低下速度が加速度的に速くなるだけではなく、心血管イベントの発現頻度も上がり生命予後が不良となります。糖尿病性腎症患者に対する他施設前向き介入試験（LICOSE 研究）において、難治性高コレステロール血症に伴う重度蛋白尿を呈する糖尿病性腎症に対する LDL アフェレシスの尿蛋白の減少、腎機能低下速度の改善、生命予後の改善効果が示され 2022 年に保険適応になりました。LICOSE 研究の概要と当院で糖尿病性腎症に対して LDL アフェレシスを行った症例の臨床経過を紹介いたします。

講演 2. 『高齢者糖尿病治療の現状と課題 ～経口血糖降下薬治療のポイントと今後の課題～』

川島 邦博 先生 神戸赤十字病院 糖尿病代謝内科 部長

日本社会の超高齢化により高齢糖尿病患者を診療する機会も増えてきている。しかし高齢者は併存疾患も多く心身の機能に多様性が大きいことから、若年者以上に個別化した治療目標の決定と安全性への配慮が求められている。

そこで今回は高齢者2型糖尿病の経口薬治療において、各薬剤を選択する際に注意するポイントを確認したい。また高齢者の糖尿病薬物療法の今後の課題についても、私見を含めてまとめてみたい。

◇会場案内図 (神戸国際会館)

神戸国際会館 会議室 802・803 号室
(神戸国際会館 1 F 奥の東エレベーターを
ご利用下さい。)

